2.C.1.e 鉄鋼製造（ペレット製造）
（Iron and Steel Production－Pellet Production）（CO_2, CH_4）

１．排出・吸収源の概要

１.１ 排出・吸収源の対象及び温室効果ガス排出メカニズム

ペレットは、焼結鉱よりも更に微粉の鉄鋼原料を球状に焼結させたものであり、高炉だけでなく、直接還元鉄製造にも用いられる。ペレットプラントには、鉄鉱石のほか、バインダとしてベントナイト、成分調整として石灰石及びドロマイトが投入される。燃料として投入されるコークス炉ガス由来の CO_2 及び CH_4、原料として投入される石灰石及びドロマイト由来の CO_2 が排出される。

なお、ペレットプラントに投入されるコークス炉ガスの消費量は、「1.A. 燃料の燃焼」からの温室効果ガス排出量を算定する際の活動量として使用している燃料消費量に含まれており、鉱石ペレット製造におけるコークス炉ガス由来の CO_2 及び CH_4 排出量は「1.A. 燃料の燃焼」において既に算定されている。また、ペレットプラントに投入される石灰石及びドロマイト由来の CO_2 排出は、「2.C.1.b 鉄鋼製造（銑鉄製造）」における石灰石・ドロマイトの使用に伴う CO_2 排出において既に算定されている。以上より、本排出源については「IE（他の排出源に含まれる）」と報告している。

１.２ 排出・吸収トレンド及びその要因

記載事項なし。

２．排出・吸収量算定方法

記載事項なし。

３．算定方法の時系列変更・改善経緯

表 1　初期割当量報告書（2006 年提出）以降の算定方法等の改訂経緯概要

	初期割当量報告書（2006 年提出）	2015 年提出
排出・吸収量算定式	未計上	新規に IE として報告。
排出係数	未計上	－
活動量	未計上	－

（１）初期割当量報告書における算定方法

2006 年 IPCC ガイドラインから新たに追加された排出源であり、初期割当量報告書では算定していなかった。

（2）2015 年提出インベントリにおける算定方法

新たに 2006 年 IPCC ガイドラインのカテゴリー区分が適用されたことにより、「IE（他の排出源に含まれる)」として報告することとなった。